

福岡教育大学でESDセミナーが開催されました

9月12日(土)に、文部科学省、福岡教育大学、大牟田市教育委員会主催による「ESDは、教育課程のどこで展開するのか、できるのか？」をテーマにしたESDセミナーが福岡教育大学で開催されました。県内はもとより、県外からも多くの方が参加され、関心の高さを感じました。

はじめに文部科学省視学官の田村学先生より、「国際理解へ向けて、総合的な学習でESDを成功させるためには」という演題で講演がありました。その中で、21世紀に求められる人材の育成や、その人材を育成するためにはアクティブ・ラーニングが不可欠であること、また、総合的な学習の時間における探求のプロセスはどういうものであるかなど、詳しくお話をさせていただきました。

講演後は、教育大学教授の石丸哲史先生を中心にラウンドテーブル形式で「国際理解へ向けて、総合的な学習でESDを成功させるためには」をテーマにディスカッションが行われました。講演をしてくださった田村学先生をはじめ、江東区立八名川小学校校長 手島利夫先生、ACCUのプログラムスペシャリスト松尾奈緒子先生がご登壇され、それぞれの立場で熱く語られました。

各地でESDに関する研修会が行われています。子ども達のためにも積極的に参加され、今後の指導の参考にされてみてはいかがでしょうか？

大牟田市立白光中学校の実践

「人とつながる教育活動(福祉学習)」を通して

本校では、人間性豊かな生徒を育てるために、人とつながる教育活動(福祉学習)を通してESDの取組を始めました。1学期は、1年生で認知症にかかわる絵本教室と寸劇づくりを行い、2学期には、2年生でペアショッピングと提言づくり、3年生で保育体験実習を計画しています。

また、6月にも吹奏楽部と白光クッキー社の生徒が明治校区ふれあい祭に参加し、地域のお年寄りや児童とふれあい、人々とつながりを持ちました。今後は、各教科の授業にESDの視点を取り入れ、コミュニケーション力を育てるとともに、今後の福祉活動に生かして人間性豊かな生徒を育てていきます。



大牟田市立上内小学校の実践

「米作りから学ぼう」の学習を通して

上内小学校の5、6年は、地域の方との米作りの学習を通して、地域の方の努力や願いを知り、地域を愛する心を育てています。また、3年前から宮城県気仙沼市立小原木小学校と交流をしています。

昨年度は、米作り体験で収穫したお米を、花ぶらす館で地域の方へ買っていただき、その収益金を義援金として小原木小学校へ送りました。販売の際に



上内米の特徴や気仙沼の復興の状況について調べ、まとめたものを掲示し、地域の方や保護者に伝えました。この学習を通して、地域への感謝の気持ちを新たにするとともに、東北大震災の被災者に思いを巡らし、自分たちができることを考え、つながろうとする意欲を高めることができました。

第6回 世界遺産学習全国サミット in おおむた

昨年まで奈良で開催されていた世界遺産学習全国サミットが、本年度は大牟田市で開催されることになりました。大きな大会が本市で開催されますので、是非ご参加ください。内容は下記の通りです。

【主催】 大牟田市教育委員会・世界遺産学習連絡協議会

【日時】 平成27年10月24日(土)

【会場】 ホテルニューガイア オームタガーデン

【日程】

9:30 エキシビション

9:40 開会行事

10:00 世界遺産学習児童発表

11:00 記念講演「世界遺産としての日本史 歴史を語る方法・目的・意義」

ケンブリッジ大学 ウォルフソンカレッジ 北川 智子 氏

12:00 (昼食・休憩)

13:30 分科会[5分科会 各2実践の発表があります]

15:30 閉会行事

